

2021年 4月 1日

# 4月の星空情報

発行 黒石すばるの会  
<http://subaru9614.dip.jp>

☆「<sup>ほしぞらじょうほう</sup>星空情報」を毎月お届けします。

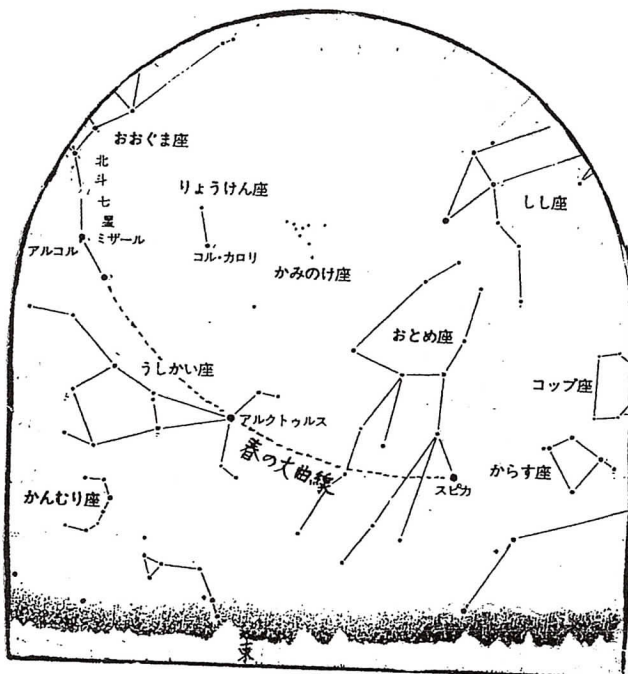
私たち「<sup>くろいしすばるの会</sup>黒石すばるの会」では、今年もこのような「<sup>ほしぞらじょうほう</sup>星空情報」を毎月発行し、黒石市内の小・中学校にお届けいたします。先生方におねがいで、小学校4年生から中学校3年生までの全教室に貼ってもらうことにしました。月や星、星座、流星群など、天文についてのいろいろなことを載せていきますので、みんなが読んで、星空を見るときに参考にしてください。

黒石すばるの会 会長 工藤 剛

## 東の星空

「<sup>ほくとしちせい</sup>北斗七星」のスプーンの柄にそってカーブを延ばしていくと、のし袋の「のし」に似たうしかい座の1等星アルクトゥルスにつきあたります。その線をさらに延ばしていくとおとめ座のスピカというたいへん明るい1等星がありますが、このいま延ばした長い線を春の大曲線といえます。

また時刻の関係で図には書けませんが、午前4時ころになると、去年、秋から冬にかけて大接近で話題になった土星と木星が昇ってきます。



## 西の星空

まだ、ふたご座やオリオン座など冬の星座が残っていますが、春霞のせいもあって、鋭い輝きはありません。しかし、ふたご座のカストル(2等)とポルックス(1等)の兄弟星ふたつが横にきれいに並ぶ姿や、1等星のカペラなどで作る五角形のぎよしゃ座が目立ちます。

また、日が暮れると西のおうし座に、1.4等くらいの火星がいて、動きが速く、月末にはふたご座にたっています。

